日本百景 名勝 香落渓の絶景を歩く

香落渓は赤目四十八滝と共に国定公園に位置し高低差200mを超える渓の両側には柱状節理の岩崖がそそり立ち四季を通じ風光明媚な一大景勝地です。

香落渓の名勝名は主に江戸時代藤堂家家老鎌田梁洲が、この地を探索し名付けた地名が受け継がれています。また、奈良東大寺二月堂のお水取りに使用する松明調進を始めた八幡(道観)長者伝説の地です。

県道81号線名張～曽爾線が大正8年に開通して、香落渓の景観の素晴らしさから、日本百景に選定されて世に知られるようになりました。

●【香落渓】の読み方●

「こおちだに」または「かおちだに」

ベストシーズン BEST SEASON

春 spring　4月中旬～5月上旬
冬を越した木々や草花の芽生えと山桜で五色に染まり、色鮮やかな新緑となる

夏 summer　6月上旬～10月中旬
葉の揺れる音や川のせせらぎ、吹き抜ける風の涼しさを楽しみながら避暑散策

秋 autumn　11月中旬～11月下旬
全山錦の紅葉となり日々色彩が変化する様は、まさに一期一会

冬 winter　12月下旬～2月中旬
吹雪後の青空や白銀の景色が見物自然の厳しさと優しさを教えてくれる

滝 waterfall　全シーズン
大雨の時に嵓山を漂う雲や霧とともに大滝がある

凡例

岩崖　撮影ポイント　バス停　バス停
全山紅葉　トイレ　WC　歩行距離　2km

ゴミは持ち帰りましょう